

お取引先さまへ

調達基本方針

デンソーグループは、企業行動指針の中で「公平・公正・透明な企業活動」「公正な取引」などを掲げています。さらに、企業行動宣言(CSR方針)においては、「サプライヤーなどの取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共存共栄の実現に取り組むこと」「取引関係においては、オープンで公平な取引機会を提供するとともに、法令および契約を順守し、公正な関係を維持すること」を明記しています。

これらを受けて、調達の基本方針として「オープンで公平・公正な取引」「サプライヤーとの共存共栄」「CSRの推進」の3本柱を掲げ、調達方針および重点取り組み事項などについて、仕入先総会、期待値活動などを通じて、お取引先への周知を図っています。



オープンで公平・公正な取引

当社はお取引先からの提案をオープンに募り、平等な条件でお取引先を選定しています。

また、調達部門の所属員には関連法令に関する教育を実施するとともに、調達担当者は年1回、調達保有能力・スキルの確認を実施しています。

さらに、コンプライアンスラインをお取引先にも開放し、お取引先から通報・相談があった場合、対応可能な体制を整えています。

相互信頼に基づく共存共栄

お取引先との連携の強化を図るため、毎年、生産動向説明会を開催し、生産情報を共有しています。また、お取引先95社と当社で構成される協会の「天栄会」では、会員各社とのコミュニケーションや、会員各社と当社の共同での「テーマ研究部会」活動に取り組んでいます。

これらの活動を通じて、お取引先との相互信頼に基づく共存共栄をめざしています。



天栄会総会の様子(2019年5月)

CSRの推進

お取引先各社にも、コンプライアンス環境規制への対応を含めたCSRを推進いただくため、説明会を開催するとともに、さまざまな場を通じて、啓蒙・調査・点検をお願いしています。

主要なお取引先には、「仕入先総会」で、デンソーの事業方針をお伝えするとともに、コンプライアンス、

化学物質管理、事業継続計画など、CSRに関連した方針についてもお伝えしています。

また、グリーン調達については、「グリーン調達ガイドライン」最新版をWeb上で開示し、ガイドラインを順守した調達を要請しています。

さらに、トヨタ自動車株式会社、富士通株式会社が共同開発したクラウドシステム「SCR-Keeper」を運用し、4次までのお取引先の生産場所情報を、当社およびお取引先がいつでも、どこからでも閲覧できるようにしています。



仕入先総会(2019年3月)

デンソーグループ紛争鉱物対応方針

デンソーグループは、人権・環境等の社会問題への影響を考慮した調達活動を推進しています。コンゴ民主共和国および周辺諸国産の紛争鉱物問題は、サプライチェーンにおける重大な社会問題の一つと認識しています。

紛争鉱物の使用状況について調査を実施し、「社会問題を引き起こす」、あるいは「武装勢力の資金源になっている」懸念のある場合には、使用回避に向け取り組みを実施します。

また、お取引先にも私たちの考えを理解いただくとともに、責任ある資源・原材料の調達活動に取り組んでいただくよう要請していきます。

TOPICS

天栄会テーマ研究部会で 「災害時緊急ガイドラインの見直し」を提案

天栄会では、会員各社と当社の双方に共通する重要課題をテーマに掲げて、テーマ研究部会が複数活動しています。

近年、大雨・豪雨による水害の被害が国内各地で発生し、事業への影響が懸念されることから、2018年度は、テーマ研究部会のひとつとして、「災害時緊急ガイドラインの見直し」をテーマとして活動しました。具体的には、大雨・豪雨の発生時の状況確認方法および連絡方法などにおける課題を抽出し、改善を提案。その成果は、他の研究部会の報告とともに、「テーマ研究部会活動報告会」で発表され、ガイドラインの改訂に反映されました。



ガイドラインの見直し結果を
テーマ研究部会活動報告会で発表(2019年5月)